

運営ニュース

令和6年1月号

多くの方にリサイクルの森 見学ツアーに来ていただきました

リサイクルの森では、環境学習として見学ツアーを開催しています。令和5年はリサイクルの森見学ツアーに、約2千名の方にご参加いただきました。見学者さんより、感想など心温まるお手紙をたくさんいただきましたので、ご紹介させていただきます。



去年は、海外から多くの方が、日本のごみ処理施設の現状を知るためにリサイクルの森に来場されました。国際環境技術移転センター（ICETT）様が、JICA草の根技術協力事業「パラオ国バベルダオブ島における分別排出システムの普及促進事業」の本邦研修、及び2023年度JICA課題別研修「海洋ごみ対策のための廃棄物管理（B）」の研修の場としてリサイクルの森を選ばれました。パラオからは10名の小学校の先生方が、またジャマイカ、ブラジル、エジプトからは各国行政官1名がいらっしゃいました。その他、カザフスタン、アメリカからも計180名の方がリサイクルの森を訪れ見学されていきました。



施設見学後の感想として、
「施設キャラクターモフリンが案内するのがとても良かった」
「啓発に力を入れ、環境教育の場としていることが素晴らしい」
「リサイクルの森で得た知識や経験を、自分の国の子供たちに伝えたい」
などの嬉しい声をいただきました。



可燃ごみ焼却施設運転情報



焼却量と発電量

	1号炉(t)	2号炉(t)	合計	発電電力量(MWh)
令和5年10月	1562.75	1390.24	2952.99	1288.40
令和5年11月	2066.72	1879.14	3945.86	1208.05
令和5年12月	1970.66	2140.12	4110.78	1959.30

ばい煙濃度

採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定濃度			
			ばいじん濃度(g/m³N)	窒素酸化物濃度(ppm)	塩化水素濃度(ppm)	硫黄酸化物濃度(ppm)
組合管理値			0.01	50	30	20
1号炉排ガス	令和5年12月1日	令和5年12月11日	0.003	37	11	2
2号炉排ガス	令和5年12月1日	令和5年12月11日	0.001	37	< 4	3

イベントなどのお知らせ

モノ・コトショップ

ご家庭で不要になったけれど、まだまだきれいで活躍しそうなモノをお持ちいただき、必要な方々に譲る不要品交換のお店を開催しています。※詳細、開催日はホームページをご確認ください。

体験イベント

牛乳パックで手作りハガキ ～気軽に紙すき体験～

開催日時 令和6年2月24日(土)

①午前の部 10:00～12:00

②午後の部 13:00～15:00

予約受付 令和6年2月1日(木)～23日(金) 16:00まで

募集人数 ①②共に5組(25名程度)

※小学生以下は保護者同伴

定員になり次第締め切りとさせていただきますのでお早めにお申し込み下さい。

お申込みはリサイクルの森HPから。

同時開催 モノ・コトショップ 10:00～15:00



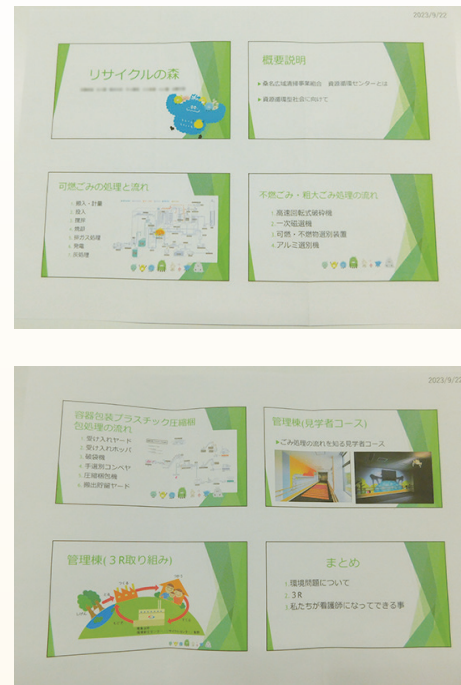
←ホームページはこちら



令和5年9月13日に桑名医師会立桑名看護専門学校の学生さんが環境実習として、リサイクルの森に訪れてくださいました。

見学後、学んだことをまとめて資料を作成され、その資料と共にお礼のお手紙をいただきましたので、一部ご紹介させていただきます。

- ・正しい分別を行っていないと、火災につながるようになるし、手作業で不適合物を仕分けするため、作業する人の負担が大きくなってしまいます。リサイクルの森のような施設があるからこそ、私たちは清潔な街を維持して暮らすことができているということを知り、これが当たり前ではないし、感謝の気持ちを持って、ごみを出すマナーとして最低限正しい分別を行うことは必要だと感じた。
- ・リサイクルの森では、環境測定を行うことにより、空気を汚染させないような設備、熱エネルギーからの発電という技術で、環境への配慮について知ることができた。
- ・私たちの生活に密接に関係するとともに重要な施設であるとともに、環境のことをよく考えて作られた施設であった。環境を守ること、私たちの生活が快適で豊かなものになり、健康にとっても良い影響を与えるということを学ぶことができた。



令和5年は32校約1600名の小学4年生が社会見学でリサイクルの森に訪れてくださいました。見学後、新聞を作って送っていただいたり、たくさんのお礼のお手紙をいただいたので、一部ご紹介させていただきます。

- ・ごみを処分したり、エネルギーに変えたりする仕組みや、しせつのドアや、きかいの工夫などもされていてすごかったです。私たちがやらないといけないことが分かって、町を大切にしようという気持ちがふえました。
- ・今までは、特にごみしよりしせつにきょうみはなかったのですが、見学に行って、ごみはいろいろな工夫をしてしよられていることを知り、おどろきました。しせつのキャラクターモフリンが言っていたように、「もったいない」は、本当に大切な言葉なんだと思いました。
- ・ごみを手作業で分けている人をじっさいに見て、ごみをしよりしたり、リサイクルする大変さがわかりました。
- ・見学では、教科書にも書いていないことを、たくさん分かりやすく教えてくださって本当にありがとうございました。
- ・今までの見学しせつの中で一番楽しかったです。



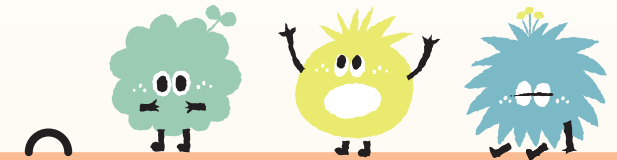
モフリン

～たくさんのお手紙を拝見して、リサイクルの森見学ツアーが、ご参加いただいた皆様にとって、ごみのこと、環境のことについて考えるきっかけになったことがわかり、とても嬉しく思います。たくさんの心温まるメッセージをいただきありがとうございました。

リサイクルの森 コンシェルジュ同へ

リサイクルの森では随時、見学ツアーの予約申込を受け付けています。詳細はリサイクルの森ホームページをご覧ください。

イベント報告



令和5年10月14日（土）

「リサイクルの森で秋祭り 遊んで作る縁日」を開催しました。

ペットボトルや牛乳パックなどの廃材を使ったお祭りブースを体験後、気に入ったお祭り工作を作っていました。いつもの体験イベント会場がお祭り会場に変わり、いつもとは違う雰囲気の中、家族連れなど大勢の参加者さんに楽しんでいただきました。



令和5年12月2日（土）

「ステンシルでオリジナルエプロンを作ろう」を開催しました。

クリアファイルを切り抜き、キッチンスポンジで色をつけて、オリジナルエプロンを作っていました。おじいちゃんおばあちゃんにも協力していただいて、楽しみながら作品を完成させている参加者もいました。皆さん、素敵なオリジナルエプロンを完成させ、嬉しそうなお様子でした。



次回は、令和6年2月24日（土）

「牛乳パック紙すきでハガキ作り」を開催します。詳細はリサイクルの森ホームページをご覧ください。ご参加をお待ちしています。



ホームページは
こちらから

